

令和5年度第2回岩国警察署協議会会議録

開催日時	令和5年10月18日（水） 午後2時から午後4時までの間	
開催場所	岩国市麻里布町六丁目15番20号 岩国警察署5階 講堂	
出席者	委員	木村委員、塩田委員、安村委員、若林委員、藤兼委員、 中村委員、笹村委員、杉原委員、松田委員、山田委員、 牛島委員、福多委員、原田委員、楯田委員 計14名
	警察署	署長、副署長、地域官、刑事官、主幹、警務課長、 警察安全相談課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、 刑事第一課長、刑事第二課長、交通官、交通捜査課長、警備課長 計15名
議題	うそ電話詐欺被害防止対策	
<p>1 会長挨拶</p> <p>先週の土曜日、岩国市で中国3県の警察音楽隊によるコンサートが開催された。ゲストの京太郎さんが歌った「安全ふるさと音頭」の歌詞に、事件事故のない安心安全な暮らしを、鍵をかけよう車・自転車・家の鍵というフレーズがあった。私たちが生活する上で、コロナウイルスやインフルエンザだけでなく、交通事故や本日の議題でもあるうそ電話詐欺など、日常的に多くの注意が必要とされている。本日は、皆さんの活発な議論をお願いする。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>省略</p> <p>3 業務推進状況説明（署長）</p> <p>(1) 犯罪情勢</p> <p>ア 刑法犯認知・検挙状況</p> <p>イ 犯罪抑止重点対象犯罪の認知状況</p> <p>ウ 岩国署管内における刑法犯認知件数の推移</p> <p>(2) うそ電話詐欺発生状況等</p> <p>ア 発生件数・被害額</p> <p>イ 被害防止対策</p> <p>(3) 人身安全対策関係</p>		

(4) 地域安全活動

- ア 熊の目撃情報の激増
- イ 受理時の対応

(5) 交通情勢

- ア 発生状況
- イ 交通事故抑止対策

4 諮問事項説明（生活安全課長）

うそ電話詐欺被害防止対策

5 協議

（委員）

うそ電話詐欺の対策として、私はナンバーディスプレイの活用しかしていないので、他に良い対策があれば教えてもらいたい。

（生活安全課長）

本年5月から、NTT西日本が、70歳以上の契約者又はその同居の契約者を対象に、ナンバーディスプレイやナンバーリクエスト等の無償化を始めた。サービスの利用を促進するため、警察では広報紙やメルマガなどを活用しながら広報に努めている。

（委員）

最新のうそ電話詐欺の手口を具体的に説明してもらいたい。

（生活安全課長）

「+1」や「+44」で始まる国際電話番号を悪用したうそ電話詐欺が全国で急増している。対策として、このような番号からの電話には出ないこと、「国際電話不取扱受付センター」への申込みなどを広報している。

（委員）

詐欺電話の対策としては、「電話を途中で切る勇気、下手に話をしないこと、家に現金を置かないこと。」が重要だと思う。

（生活安全課長）

うそ電話詐欺対策として、知らない番号からの電話には出ないこと、知らない相手とは話をしないことが大切である。うそ電話詐欺被害のほか、侵入盗や悪質商法の被害に遭うおそれもあることから、家に多額の現金は置かない方がよい。

一方で、多額の被害だけでなく、サポート詐欺の手口では数万円単位で被害に遭うこともあるので、犯人と電話で話をしないための対策が重要である。

（委員）

コロナウイルスの感染者数が報道されていたように、うそ電話詐欺事件が発生する度にニュースで取り扱ってもらってはどうか。

（生活安全課長）

うそ電話詐欺の被害申告がなされたものについては、報道へ提供をしている。管内でアポ電が発生した場合も、内容によっては報道提供を行っている。

また、メールマガジンにより、月ごとのうそ電話詐欺発生状況について情報提供を行っている。

(署長)

積極的に報道してもらえよう、報道機関に働きかけを行っていく。

(委員)

うそ電話詐欺の被害防止に向け、高齢者への啓発、金融機関などによる水際での未然防止が必要ではないか。

(生活安全課長)

「うそ電話詐欺の手口を知っていた。」という方でも被害に遭っていることから、ただ知っているだけではなく、被害防止対策をとることが求められる。その一つとして、留守電設定などの電話機対策は有効であることから、まずは自身でできる対策をとっていただきたい。

水際対策は、金融機関やコンビニに依頼しているところであるが、今後もこのような対策を継続していく。

(委員)

被害者の方には、被害の補償について教示するのか。

(刑事官)

警察からは、各金融機関に連絡するよう教示している。

(委員)

不在確認のために電話をかけてくる手口があると耳にしたが、どのような対策をとればよいのか。

(生活安全課長)

不在確認への対応としては、固定電話にかかってきた電話を携帯電話に転送するサービスがある。

(委員)

うそ電話詐欺に限らず、認知症の家族がいる場合の効果的な防犯対策について教えていただきたい。

(生活安全課長)

認知症の方に特化した有効な対策はなく、家族や周囲の見守りが必要である。

犯人から狙われないためには、設備面での防犯対策が有効である。地域全体の防犯意識が高いところは狙われにくいことから、地域全体の防犯対策を進めるなどしてもらいたい。

被害を出さないためにも、自宅に必要以上の現金を置かない、高価な物は金庫に入れるなどの対策をとってもらいたい。

(委員)

うそ電話詐欺の手口について、最新の情報を教えてもらいたい。

(生活安全課長)

コンビニの固定電話に I T 関連企業の社員をかたる者から電話があり、コンビニ自身が電子マネー利用権をだまし取られた事案や、電子マネーの購入先としてドラッグストアやスーパーなどを指定する事案が新たに発生している。

(委員)

うそ電話詐欺の被害に歯止めをかけるため、他県の警察署では、警察官がコンビニを巡回して顔馴染みとなり情報を共有しているとの報道があったが、岩国署はいかがか。

(生活安全課長)

店員による声かけを依頼するため、当署では、毎月10日の「戸別訪問の日」に合わせてコンビニへの巡回も実施し、チラシ等の配布や電子マネーカードを入れる封筒の活用依頼などを行っている。

(委員)

犯人側は、被害者の電話番号をどうやって把握するのか。

(生活安全課長)

犯人側で名簿が共有されたり、情報が売買されたりするものと考えている。

(委員)

高齢者に対する戸別訪問の際、電話機に貼るシールにはどのようなことが書かれているのか。例えば、「非通知、050、+は気を付けましょう。」など、具体的な内容を記載すればより効果があるのではないか。

(生活安全課長)

現状では具体的な文言が入っていないので、これから改良を検討する。

6 講評（副会長）

うそ電話詐欺がすぐになくなることはないと思うが、手口などを広報することにより、被害を未然に防いでもらいたい。

7 配布資料

警察業務説明資料